（別添資料１）

事業所名　児童発達支援LINOCY原田教室

支援プログラム（参考様式）

作成日　令和8 年 11 月 1 日

法人（事業所）理念		子どもたちの楽しいを大きなかがやきに			
支援方針		小学校入学前の未就学児を対象に、運動療育を通して日常生活における基本的動作や知識技術を習得し、集団生活に適応できるよう成長のサポートと笑顔のあふれる支援をする。			
営業時間		8 時 30 分から 17 時 30 分まで	送迎実施の有無	あり　なし	
		支　援　内　容			
本人支援	健康・生活	部屋のレイアウトに配慮、活動内容の見える化、生活リズムの安定化として荷物の収納、手洗い、トイレの声かけを定期的に行う支援。			
	運動・感覚	感覚過敏の児童への配慮として静養場所を用意、個別運動療育、バルシューレ活動としてボールや道具を使った全身運動。 プール運動して「浮力・密度・水圧」による安全を第1とした全身運動プログラム、日常動作の改善			
	認知・行動	コーディネーショントレーニング(ニューロトラッカー記入)による視機能向上プログラム支援、毎日の日付け確認のために手作りカレンダーの設置。 季節感を養うための制作活動、粘土を使った感覚認知の形成支援。タイマーを使用した切り替え能力の向上。			
	言語 コミュニケーション	個別特化活動、総合療育として非言語（ジェスチャーゲームなど）・言語（短文等）・指示理解に関するプログラムを実施			
	人間関係 社会性	地域施設での運動、プール活動を通して社会参加、地域活動について学ぶ。 お友だちと一緒に行える活動を行うことによる協同活動支援。			
家族支援		月1回ご自宅への訪問相談を通してお子様の事業所での状況、ご家庭、園での様子の共有を行う。年2回のモニタリング	移行支援	園・関係機関との連携	
地域支援・地域連携		公園遊びや課外活動、地域イベントに参加し交流する。	職員の質の向上	定期的な研修(療育・虐待防止・事故防止・感染症・防犯・災害・ビジネスマナー等含む) 市街の研修会参加、委員会活動	
主な行事等		季節の制作、季節の行事として夏祭り、秋の運動会、クリスマス会、バレンタインチョコ作り等			